

共生・協働の 地域社会づくり

NPO法人
地域サポートよしのねぎぼうず
TEL 099(243)3778

人と人があたたかく織り成す まちづくりを日指して

「お互いに助けが必要なところに手を差し伸べるのが地域の役割だ」と語るのは、理事長の永山恵子さん。NPO法人地域サポートよしのねぎぼうずは、住民の手で地域を総合的にサポートする活動をしたいの思いから、平成17年に設立されました。高齢者や子育て家庭の家事支援、小・中学生の離島体験、未就園児と母親の遊び場づくり、防犯パトロール、地域の伝統文化の創造をテーマにしたイベントなど、地域の中で「こういうものがあつたらいいな」と思うものを次々に実現し、事業化してきました。

吉野地域の多様なニーズに対応した活動を行うのは、正会員とサポーター(有償ボランティア)合わせて約40人のスタッフです。スタッフはほと



「よしのつち'マミークラブ楽々(らら)」の皆さん

んどが吉野地域の方々で、それぞれが空いた時間と能力を生かしながら活躍しています。

例えば、乳幼児の母親らが当番制で子どもを預けあうサロン「よしのつちマミークラブ楽々(らら)」では、家庭での子育てを終えた女性や、保育士の資格を持った方が、若いお母さん方の相談相手です。また、お菓子作りなどそれぞれの得意分野を教え合う時間を企画したり、子育て講座を開いたり、利用者である母親同士で活動の企画・運営を行っています。「楽々(らら)」のお母さん方からは、「お互いを高め合う場になっている」「育児についての悩みを相談したり情報交換ができ、元気をもらっている」という声を聞くことができました。

「地域の人が持つている力を発揮できる場所を作りたい」という永山理事長の思いが実を結んでいくことを、活動するスタッフや利用者



「キッチンやまぼうし」の皆さん。楽しそうに作業が進みます。

の笑顔が物語っています。

このような活動は、着実に吉野地域に根ざしてきています。民話の伝承活動を通して地域の活性化を図ろうと、平成17年から地

元有志で始めた「吉野兵六ゆめまつり」。平成23年5月15日で6回目の開催となり、現在では社会福祉協議会、校区公民館連絡協議会、福祉施設など地域の多様な組織や行政と連携し、地域の文化の創造と福祉の向上を目指した吉野地域の一大イベントへと発展しています。

「人と人が織り成すまちづくり」というテーマどおり、吉野地域を舞台に、地域住民がそれぞれの力を出し合い、温かく支え合う仕組みが、「よしのねぎぼうず」を中心に広がりを見せています。



「第5回吉野兵六ゆめまつり」の一コマ

代表者からひとこと



理事長の永山恵子さん

「人と人をつなぐ場をつくりたい」という思いで活動してきました。広がる人の輪を大切にしながら、地域を総合的にサポートしていきたいと思えます。

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階) TEL 099(286)2241
◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL 099(221)6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。